

令和5年度 事業報告

自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

I 事業の重点目標

- 学校給食の振興を図り、児童生徒及び国民への食育を推進する活動をとおして、児童または青少年の健全育成に寄与する。
- 学校における教育活動に根付いた食育の推進をとおして、児童生徒の健全な育成と豊かな人間形成を目指し、あわせて、保護者をはじめ地域住民など広く国民の心身の健康に寄与する。
- 食育推進の中核である栄養教諭、学校栄養職員の資質の向上を図る。
- 食育推進に係る国の施策の遂行に協力するとともに、国民の健康増進に寄与するための事業を行う。
- 公益社団法人として、社会における役割と責任を自覚した活動を行う。

II 事業内容

公1. 食育の推進事業

(1) 学校給食週間行事の推進

学校給食週間では、学校給食の意義や役割を児童生徒や教職員、保護者、地域の方々の理解と関心を深めるための機会とし、食育活動を推進した。また、全国で行われている食育活動を収集して取り組み事例集を作成し、それを全国の栄養教諭等が共有し参考とした。なお、事例の収集にあたり文部科学省の後援・協力、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会等の協力を得た。

○期間 令和6年1月24日(水)～30日(火)

- 内容 ・学校給食週間中に行う児童生徒への啓発活動
- ・学校給食に関しての保護者や地域の方々への広報活動
- ・学校給食週間中の取組事例集の作成・発行 8,600部(令和4年度実施分)
- ・全国で行われている食育活動の収集(令和5年度実施分)

(2) 食育推進リーフレットの作成・配布

食育推進全国大会や「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント等で配布し、食育推進の啓発活動を行うため、本会事業を踏まえたリーフレットを増刷した。

- ・「日本各地の郷土料理」 2,000部

(3) 食育月間事業 ー第18回食育推進全国大会ー

国の施策である食育月間における「食育推進全国大会」に参画し、啓発資料の配布、掲示、食育活動を展開し、広く国民の心身の健全な発達に寄与する活動を行った。

○期日 令和5年6月24日(土)～25日(日)

○会場 富山産業展示館(富山県富山市)

- 内容 ・啓発資料の配布、掲示
- ・参加者対象の食育活動
- ・全学栄製品及び全学栄すいせん製品の紹介

(4) 関係団体への協力

食育の推進及び学校給食の振興、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上に関連する他団体の事業に参画し、専門性に基づいた支援や意見提言を行った。

<関係団体>

- ・食育推進会議（農林水産省）・・・委員として関与
- ・「早寝早起き朝ごはん」全国協議会・・・幹事会の構成員として関与
- ・（独法）国立青少年教育振興機構・・・委員として関与
春のキッズフェスタのイベントでブースを出展し、リーフレットやレシピの配布及び食育体験活動を行った。
 - 期日 令和5年5月27日（土）
 - 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 - 内容 ・食育体験活動 ・パネル展示 ・啓発資料の配布
 - 対象 親子
- ・全国産地消推進協議会（農林水産省）・・・幹事会の構成員として関与
- ・（公財）日本学校保健会・・・理事会、評議員会の構成員として関与
- ・（公財）学校給食研究改善協会・・・理事会、評議員会の構成員として関与
全学栄養品及び全学栄養いせん製品等の食材を活用した調理研究事業に参画することにより、学校給食の献立内容を豊かにし、教材としての充実を図るための資質を養った。
 - ① 調理講習会（栄養教諭・学校栄養職員対象）
 - ② 親子料理教室（児童生徒・保護者対象）
 - 実施期間 令和5年度
 - 会場 調理講習会（全国 17都道府県）
親子料理教室（全国 15都道府県）
 - 内容 調理講習会・講演
- ・（一社）Jミルク・・・「ジャパンミルクコンGRESS」の実施に後援として関与

公2. 食育推進人材育成事業

(1) 食育推進講習会

栄養教諭をはじめとする食育推進に関わる者及び今後食育に関わることを目指す学生等の専門的知識の修得と指導力の充実を図ることを目的として行った。

近年、学校における食育の推進の中核となる栄養教諭・学校栄養職員の専門的知識や技能の向上が求められ、食育の評価や栄養教諭の配置効果を見える形で示していく必要があることから、食育に関わるものの指導力の充実を図った。

なお、実施にあたり文部科学省の後援を得た。

【データ解析・論文コース】

- 期日及び人数 令和5年10月27日（金）～29日（日） 47名
- 会場 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
- 対象 本会会員及び一般参加者

【一般コース】

- 期日及び人数 令和5年11月11日（土）～12日（日） 199名
- 会場 オンライン開催
- 対象 本会会員及び一般参加者

(2) 第59回学校給食夏季講習会

学校給食の食事内容を改善充実し、児童生徒の体力増進、食事に対する正しい知識とその実践を図るために必要な事項について研修を行い、栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上と学校給食の振興に資することを目的として行った。

なお、実施にあたり文部科学省の後援を得た。

- 期日及び人数 令和5年7月22日(土)～23日(日) 80名
- 会場 オンライン開催
- 対象 本会会員及び一般参加者

(3) 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会

食に関する指導の手引―第二次改訂版―を踏まえて、身に付けたい資質・能力を食育の視点に沿っておさえた「教科等における食に関する指導」の指導展開例をまとめた。

今年度は、新しい食育「教科等における食に関する指導 中学校 II」として刊行し、栄養教諭等関係機関へ配布した。

- 組織 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会
- 刊行 新しい食育「教科等における食に関する指導 中学校 II」 8,600部

(4) 都道府県代表者研修会

本会が取り組む食育を全国的に推進するための知識、手立てを共有し、会員相互の資質向上と食育推進のレベルアップを図る目的で開催した。

- <1回> ○期日 令和5年8月2日(水)
- 会場 白兎会館(鳥取県鳥取市)
- 対象 本会会員の都道府県代表者

- <2回> ○期日 令和5年12月7日(木)～8日(金)
- 会場 7日(都市センターホテル)、8日(ビジョンセンター永田町)
- 対象 本会会員の都道府県代表者

(5) 第64回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会

学校における食育の推進にむけて、児童生徒に対する食に関する指導のあり方や学校給食の充実を図る方策について研究協議を行う全国大会であり、文部科学省及び開催地の都道府県教育委員会とともにこの大会を主催した。

- 期日 令和5年8月3日(木)～4日(金)
- 会場 とりぎん文化会館(鳥取県鳥取市)
- 対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

(6) 第74回全国学校給食研究協議大会

学校における食育推進にとって重要な役割を担う学校給食のあり方について、全体会、分科会で研究協議を行い、学校給食関係者の資質向上を図る目的で開催される全国大会であり、文部科学省及び(一社)全国学校給食推進連合会とともにこの大会を主催した。

- 期日 令和5年10月19日(木)～20日(金)
- 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

(7) 広報活動

① ホームページの充実

本会事業の推進と成果及び調査研究結果等を会員及び広く不特定多数に対し開示するとともに、新たな情報やニーズを把握して随時、更新を行った。

② 機関誌「公益社団法人全国学校栄養士協議会報」を会員及び関係者に配布した。

第82号(令和5年8月発行)、第83号(令和6年1月発行) 各9,000部

公3. 健康増進調査研究事業

(1) 食生活実態調査

児童生徒の健康増進に関する調査研究及び学校給食の振興に関する調査研究を行い、課題解決の具体的な方策の検討を行った。あわせて、研究の成果を発表した。

① 研究推進助成事業

○内容 都道府県学校栄養士研究団体又は会員団体が行う食育に関わる研究を募集し、審査の上で助成した。

○助成費 1年間、1都道府県10万円 2県

・広島県 研究題目 「バランスよく食べる児童の育成に向けた食育の実践(1)(2)～ごはんの食べ方の実態調査とICTの活用～」

・香川県 研究題目 「食に関する指導を効果的に行うための全体計画のあり方について」

○報告書 令和4年度助成先(東京都、広島県、山口県)について、都道府県代表者研修会等で研究の成果を発表するとともに、機関誌やホームページに掲載した。

② 食育推進実態調査

1) ○内容 食育推進状況を把握し、指導に活かすための手立てについて研究を行った。

○刊行 ICTを活用した給食管理や給食の時間における食に関する指導を始め、各教科や個別的な相談指導においても参考になる「栄養教諭の職務におけるICT活用の事例集」を作成・配布した。 8,600部

2) ○内容 地域の実情に応じ、様々な健康課題に対応するための栄養教諭の個別指導力の一層の向上を図ることを目的として、文部科学省委託事業「食に関する健康課題対策支援事業」を実施し、個別的な相談指導の取組事例等を発表した。

(2) 栄養・衛生・安全管理の徹底を図る事業

学校給食における食中毒防止の徹底を図るため栄養教諭、学校栄養職員が小グループ研究班を編成して学校給食施設を訪問し、衛生管理体制等の現状把握と点検を行った。点検、協議の結果からその改善点を見だし、衛生管理の徹底を図ることを目的とした報告書を作成・配布した。

なお、実施にあたり文部科学省の後援・協力、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会等の協力を得た。

- 実施期間 令和5年度
- 対象 全国学校給食施設
- 方法 小グループによる研究授業方式をとった研究実践（点検・記録・協議）
- 報告書 8,600部（令和4年度実施分）

(3) 学校給食用食品の研究開発

学校給食への優良な物資の供給を図ることをとおして、学校給食の振興に寄与し児童生徒の心身の健康に資することを目的とする。

① 災害時における非常食の開発

災害発生による非常時においても、成長期の子供たちに栄養バランスのとれた食を提供することができるために、災害時学校給食用非常食を開発し、子供たちの心身の安定と体力保持に寄与することを目的として検討した。

- 組織 災害時学校給食用非常食開発委員会
- 内容 食品開発の研究
- 普及活動
 - ・非常食活用推進事業（サンプル配布 救給ゴロゴロ野菜の煮物）
 - ・啓発チラシの配布

② 全学栄製品及び全学栄すいせん製品の選定と献立研究

全学栄製品及び全学栄すいせん製品の見直しを行った。

- 1) 全学栄すいせん製品「ソフトササミフレーク」1kg包材への表示方法変更について
- 2) 全学栄すいせん製品「北海道牛乳プリン」終売について
- 3) 全学栄すいせん製品「沖縄パイゼリー」内袋廃止について
- 4) 全学栄製品「全学栄 救給カレー」、全学栄製品「全学栄 救給根菜汁」、全学栄製品「救給コーンポタージュ（玄米入り）」製造工程変更について
- 5) 全学栄製品「全学栄 ゴロゴロ野菜の煮物」注意喚起表示変更について
- 6) 全学栄製品「全学栄 枝豆とじゃこの元気ボール」原材料産地変更について
- 7) 全学栄すいせん製品「白花豆コロッケ」栄養成分値訂正について
- 8) 全学栄すいせん製品「スクール糸かまぼこ(ほぐし)」コンタミネーション表示追記について
- 9) 休売中の非常食「全学栄 救給五目ごはん」リニューアルについて
- 10) 全学栄すいせん製品「沖縄パイゼリー」ゲル化剤変更について
- 11) 全学栄製品「全学栄 救給ゴロゴロ野菜の煮物」原材料産地変更について
- 12) 全学栄すいせん製品「スクールがんもどき」配合及び栄養成分、表示等変更について
- 13) 全学栄製品「全学栄救給根菜汁」産地表記変更について
- 14) 全学栄製品「全学栄豚レバーチップ」賞味期限表示変更について
- 15) 全学栄製品「全学栄かぼちゃチーズフライ」全学栄すいせん製品「スクールチーズフォンデュ サンドコロッケ」原料情報変更について
- 16) 全学栄すいせん製品「沖縄パイゼリー」原材料産地変更について
- 17) 全学栄製品「全学栄救給カレー」原材料トマトジュースの変更について
- 18) 全学栄すいせん製品「蒸し挽き割り大豆」包材変更と賞味期限延長について

Ⅲ 会議

総会・理事会・都道府県代表者会を下記のとおり開催する。

会議名	回数	期 日	内 容
理事会	第1回	令和5年 5月21日(日)	定時総会の開催について 令和4年度事業報告及び収支決算 賛助会員の入会
都道府県代表者会	第1回	令和5年 6月 8日(木)	令和4年度事業報告及び収支決算
定時総会	第50回	令和5年 6月 9日(金)	令和4年度事業報告及び収支決算、 令和6年度会員の入会金及び会費 理事及び監事の選任、定款の変更
理事会	第2回	令和5年 6月 9日(金)	会長及び副会長の選任、事業報告、 組織編成
理事会	第3回	令和5年 8月 2日(水)	事業報告
理事会	第4回	令和5年10月22日(日)	正会員及び賛助会員の入会 事業報告及び令和6年度事業計画 (オンライン開催)
理事会	第5回	令和5年12月 7日(木)	事業報告及び令和6年度事業計画
理事会	第6回	令和6年 2月10日(土)	正会員の入会 令和6年度事業計画及び収支予算
理事会	第7回	令和6年 3月 6日(水)	事業報告
都道府県代表者会	第2回	令和6年 3月 6日(水) ～ 7日(木)	事業報告 令和6年度事業計画及び収支予算

Ⅳ 事業報告の附属明細書

1 補足すべき重要な事項

該当事項はありません。